

台湾セミコンダクター（TSMC）ADR（TSM）

【セクター】 半導体製造

【市場】 NYSE

信買

【企業概要】

半導体の受託生産（ファウンドリ）で世界最大手。最先端半導体の製造技術で優位性を確立しています。世界大手のファブレス（工場を持たない）半導体企業やスマートフォン・メーカーなどが主要顧客です。主な用途別の売上高構成比（24.12期）は、パソコン・サーバー・ゲーム機などHPC（ハイパフォーマンス・コンピューティング）が51%、スマートフォンが35%、モノのインターネット（IoT）が6%、車載が5%、デジタル民生機器が1%、その他が2%です。

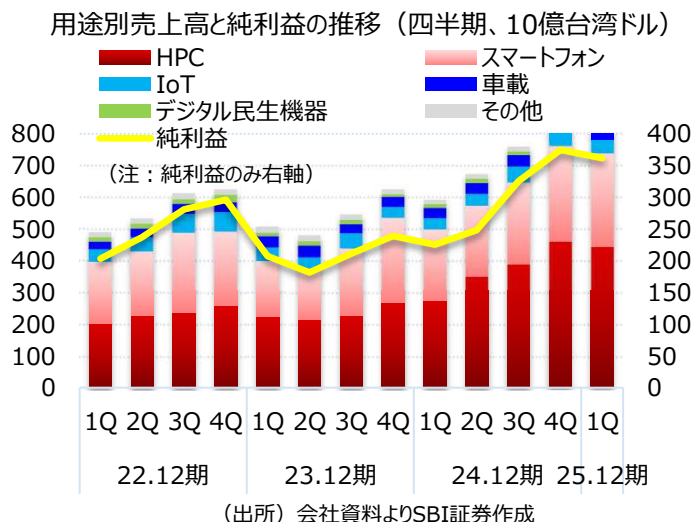
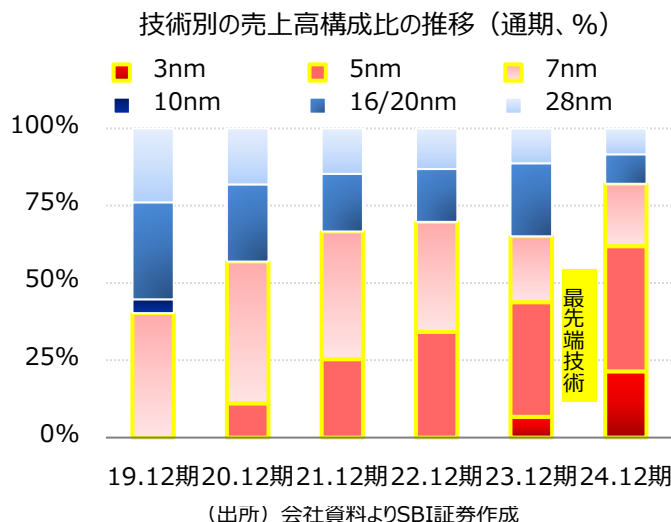
【業績】（単位：売上高、純利益は百万台湾ドル、EPS、1株配当、BPSは台湾ドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
23.12期	2,161,736	833,674	32.34	13.00	133.4	26.2	63.0
24.12期	2,894,308	1,180,412	45.25	17.00	165.4	30.3	64.6
25.12期（予）	3,680,654	1,547,768	59.69	17.62	210.1	30.7	0.0

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



【会社の見方】

世界ファウンドリ業界での市場シェアは6割強と高く、技術力でも業界をリード。最先端半導体の7nm・5nm・3nmプロセスの量産化を他社に先駆けて実現。世界的なデジタルトランスフォーメーション（DX）やAIへの需要の拡大とそれを見込んだ設備投資が功を奏し、7nm・5nm・3nmの売上高構成比は上昇しています。トランプ米大統領による関税政策で、半導体及び関連製品は相互関税の対象外となりましたが、今後、品目別での税率が課される予定で、現在は米国商務省産業安全保障局（BIS）が調査中です。3月、今後数年間で米国に1,000億ドルの追加投資を行い、5つの新工場を建設する計画を発表し、コスト上昇が懸念されています。ただし、最先端半導体への需要拡大を背景に、中長期的に業績は堅調に推移すると見込まれます。

【見通し・注目点】

24.12期4Qの売上高と調整済1株利益、25.12期1Qの売上高見通しは、いずれも市場予想を上振れました。米政権による関税政策発動を前に、AIやスマートフォンの駆け込み需要が拡大しました。また、25.12期の成長見通しと設備投資見通しを据え置き、AI売上が倍増することにより、米中貿易戦争を乗り越えられると自信を示した格好です。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりつく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。